

『高速道路（中国横断自動車道尾道
松江線）の開通による地域経済への
波及効果・影響等に関する調査』
中間報告

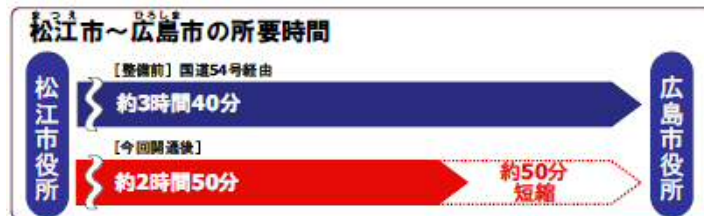
平成26年7月

中国経済連合会

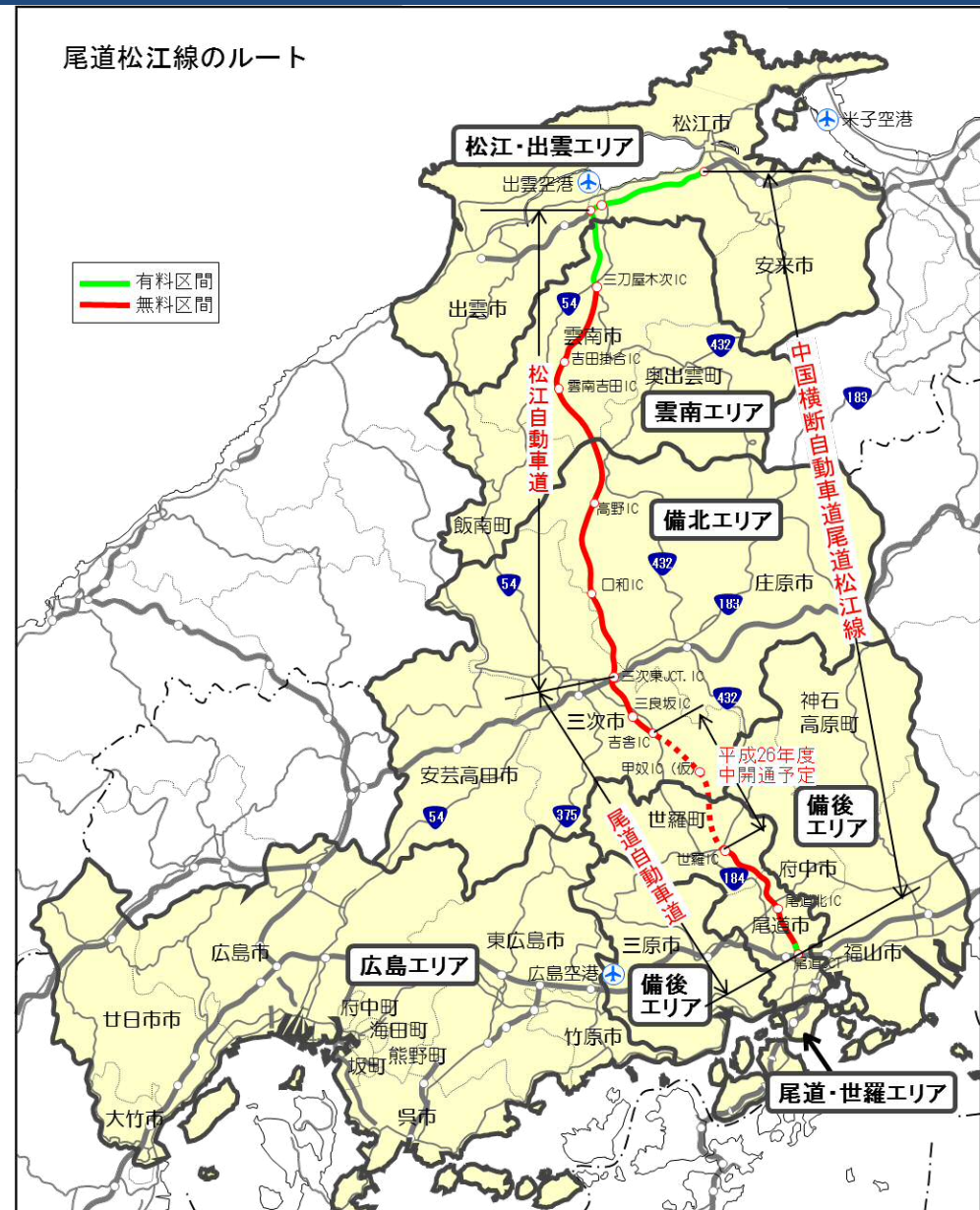
序. 調査の目的

【調査の目的】

平成24年度末に全通した松江自動車道等の波及効果の検証を行うとともに、平成26年度中の全通が予定されている中国横断自動車道尾道松江線(以下「尾道松江線」)の波及効果を高めるための沿線地域における取り組み課題について検討する。



(資料)中国地方整備局、NEXCO中国支社発表資料

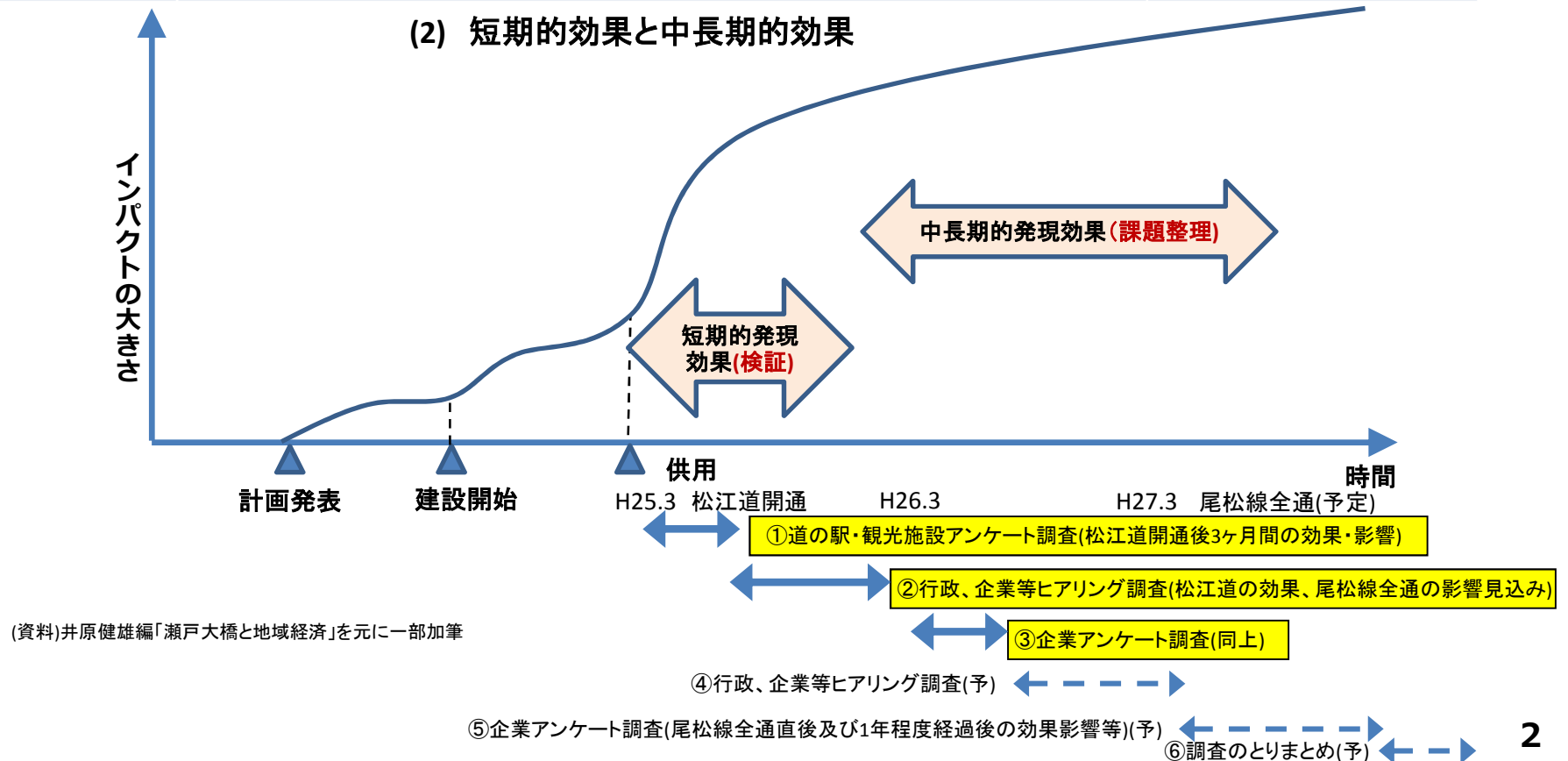


(注) 企業アンケート (平成26年4月実施) 対象エリアを色塗り

(1) 直接効果と間接効果

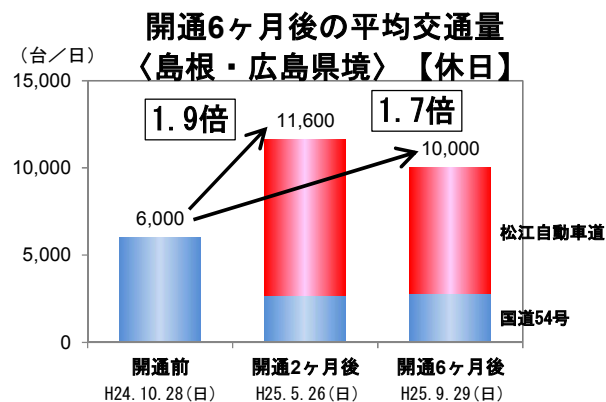
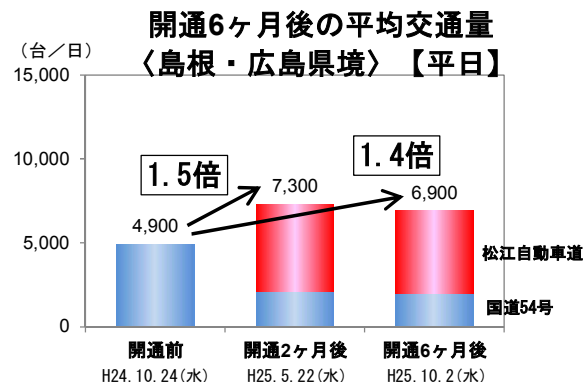
分類	内容	効果の発現時期
直接効果	・走行時間の短縮、走行経費の節減、渋滞解消、定時性確保、疲労軽減、荷痛み減少、交通事故減少、代替路整備による交通の信頼性向上等 ★節減額を金銭評価しB/Cで事業効果を算出	道路供用後
間接効果	・生産力の拡大、地域開発の誘導効果、土地利用の促進、生活機会の拡大、生活環境の改善、人口の増大、防災機能向上等 ★地域の取り組み次第で効果の大きさ、内容が変化	道路供用前後

(2) 短期的効果と中長期的効果



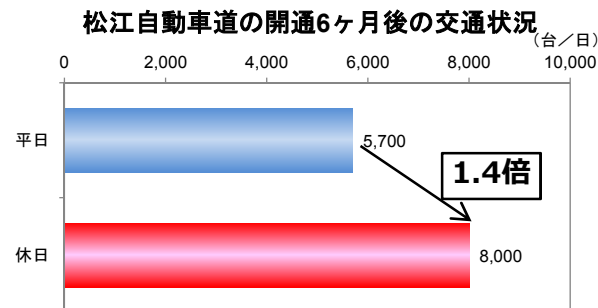
データ紹介

松江自動車道開通後の交通状況



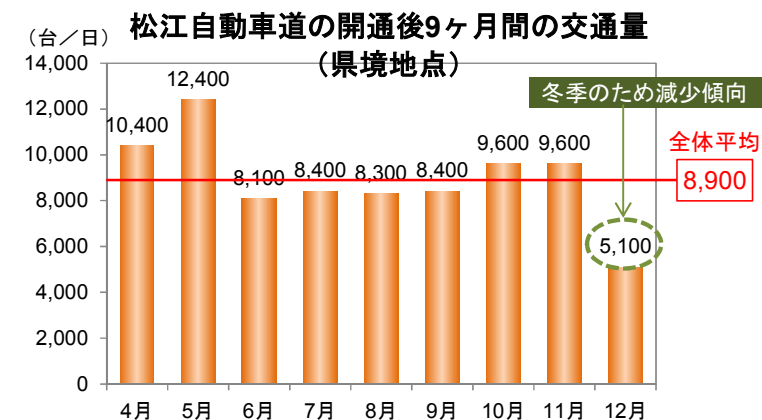
交通量は1.4～1.7倍に拡大

交通量は国道54号から松江道に大きくシフト。開通ブームは収まりつつあるが、両者を合計すると、広島・島根間では平日で1.4倍、休日で1.7倍に交通量が増加。



(注) IC間の5調査地点の平均

休日の交通量は平日の1.4倍



冬期の交通量は大幅に減少

(資料)松江国道事務所・三次河川国道事務所公表資料(平成26年1月24日付け)に基づき作成

1. 交通面・生活面・行政面の効果・影響

交通面

①高速バスの運行サービス向上

※時間短縮は直接効果

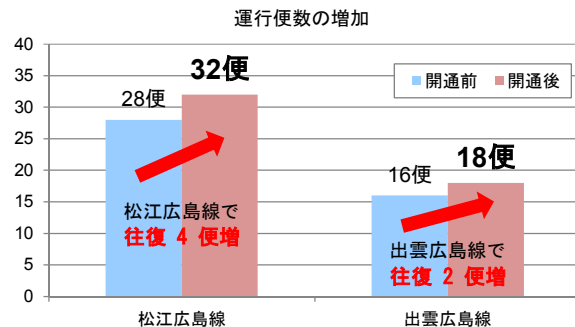
- ・広島・松江線 28便→32便に増便(+4便)、特急便で18分短縮。
- ・広島・出雲線 16便→18便に増便(+2便)、特急便で23分短縮。
- ・広島・米子線 国道183号経由→松江道経由、最大20分短縮 (H25.7~)。
- ・福山・尾道・松江線 1日3便運行開始(H25.9~)。

H25年度は前年度に比べ乗客が12%増加。
H26.7より更に4便増加。
(H26.6.17中国新聞)

H26.7より更に2便増加。(同上)

データ紹介

高速バスの運行サービス向上



高速バス(松江広島線)の所要時間

【開通前】国道54号経由

3時間15分

【開通後】松江自動車道経由

2時間57分

18分短縮

※H25.8.1のダイヤ改正で江の川PAでの休憩5分の増加を含む

高速バス(出雲市広島線)の所要時間

【開通前】国道54号経由

3時間10分

【開通後】松江自動車道経由

2時間47分

23分短縮



(資料)松江国道事務所・三次河川国道事務所公表資料(平成26年1月24日付け)に基づき作成

②高速道路ICを起点とした交通アクセス向上

○P & R 駐車場整備

- ・高野ICに隣接して整備され、奥出雲町からも利用。

○高速バスと地元バス路線の結節

- ・奥出雲町営バスを道の駅たかのまで延伸し、高速バスと接続。

③国道等の交通量変化に伴う影響

○安全性向上

- ・国道54号の交通量減少により、地域での安全性が向上した。

○交通量増大によるマイナス影響

- ・松江市内の観光施設に交通が集中し深刻な交通渋滞が発生。
- ・高野ICや三次東IC近辺の交通量が増加したため、交通事故の危険性を懸念。

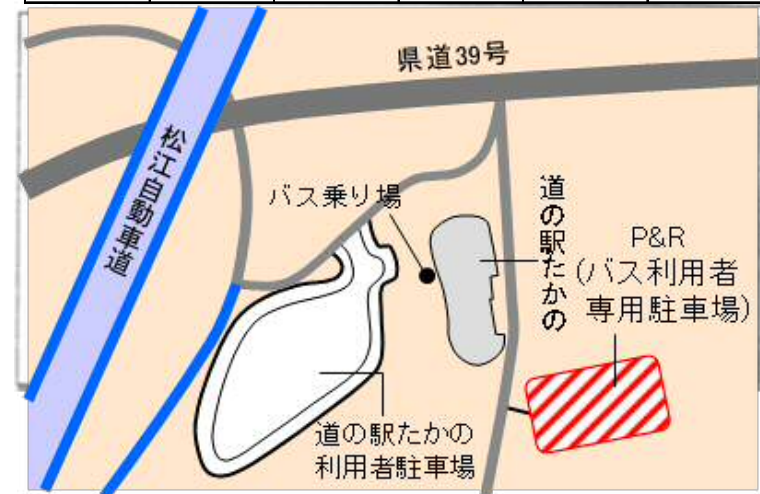
事例紹介:高速バス活用に向けP&R 駐車場整備と地元バス路線の結節

◇庄原市では道の駅たかのに隣接してP&R駐車場を整備。

◇奥出雲町では道の駅たかのまで町営バスを延伸(1日2往復)。

奥出雲交通バス時刻表 運賃 大人片道400円、子ども200円)

	三成車庫	三成駅	下阿井	米原	道の駅 たかの
高野行き	7:55	8:00	8:12	8:21	8:48
	13:30	13:35	13:52	14:01	14:28
奥出雲行き	10:39	10:34	10:17	9:58	9:31
	15:58	15:53	15:41	15:32	15:05



生活面

④医療圏・救急搬送圏の拡大

- ・ 庄原市高野では三次への通院者が増加。
- ・ 雲南市では救急患者を三次まで搬送可能な体制が整う。
- ・ 世羅町では尾道・福山への救急搬送が可能となる。高次医療面でも川崎医科大学病院までの搬送が可能。尾道道が全通すれば産婦人科をもつ三次中央病院との連携も可能。（注）一部開通している尾道自動車道での開通効果

⑤買物圏拡大を見越した商業機能の強化

- ・ 三次市では商圈拡大を見越して複合商業施設が立地し、国道54号沿線の飲食店も入居。



複数店舗が複合化した商業施設の立地



複合商業施設に国道54号沿線の飲食店も入居

⑥生活行動圏の拡大

- ・両県とも県境を越えた広域交流が3割程度増加。
- ・島根側からは、広島・呉方面、三次・庄原方面への訪問が増加。観光、買物等が主目的。
- ・広島側からは、松江・出雲方面に集中的に増加。

行政面

⑦広域防災面での連携

- ・雲南消防と備北消防間で高速道路の事故時における相互応援協定を締結。

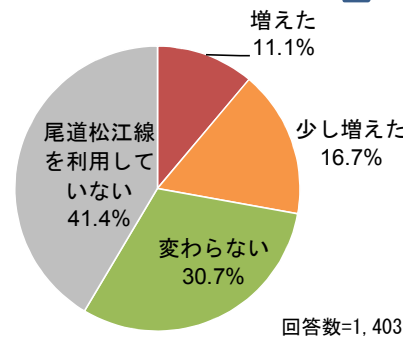
⑧国定公園活用やイベントでの連携

- ・比婆道後帝釈国定公園を活用した広島・島根間の県境を越えた連携事業を実施した（山たびスタンプラリー）。
- ・奥出雲町が備北丘陵公園を活用した出雲神楽のイベントに協力、実施。

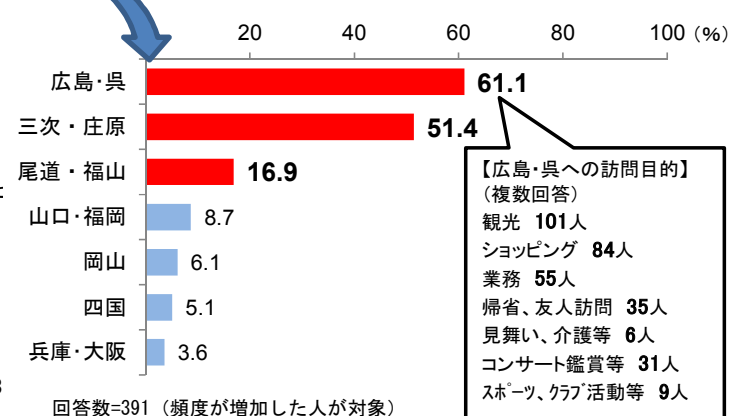
データ紹介

広域的な人の交流の拡大

開通後の県外への訪問頻度
(島根県東部の住民)

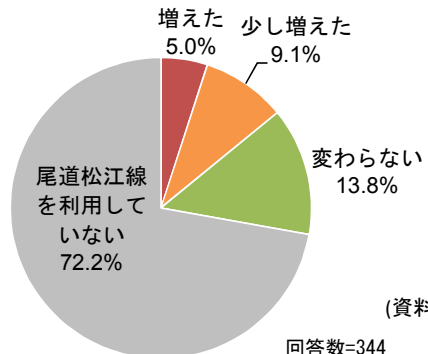


訪問頻度が増加した方面

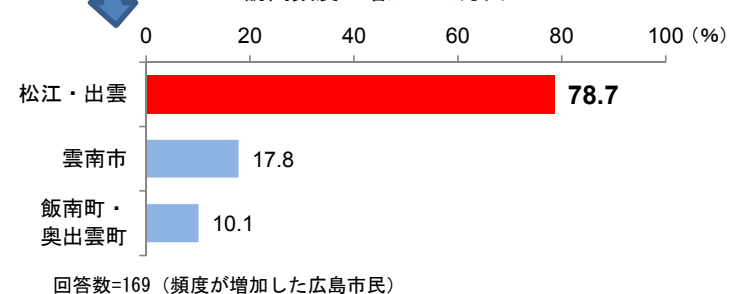


【広島・呉への訪問目的】
(複数回答)
観光 101人
ショッピング 84人
業務 55人
帰省、友人訪問 35人
見舞い、介護等 6人
コンサート鑑賞等 31人
スポーツ、クラブ活動等 9人

開通後の県外への訪問頻度
(広島市民)



訪問頻度が増加した方面



(資料)松江国道事務所・三次河川国道事務所公表資料(平成26年1月24日付け)に基づき作成

2. 観光面の効果・影響

既存観光地への効果・影響

①観光客の増加・広域化

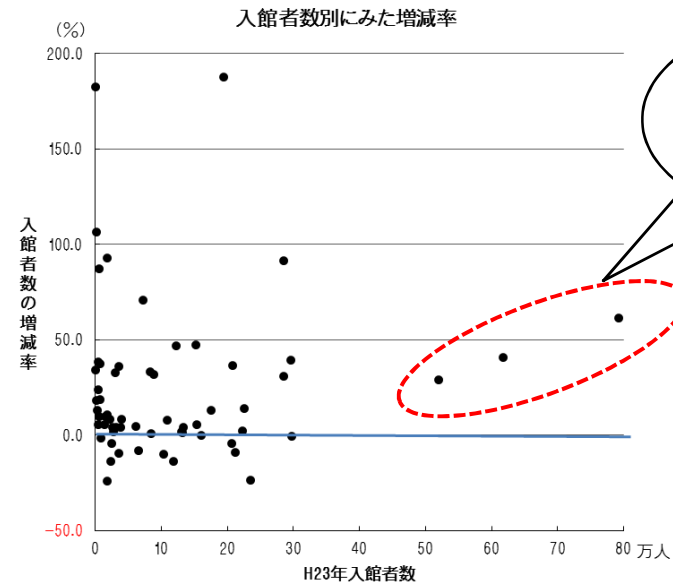
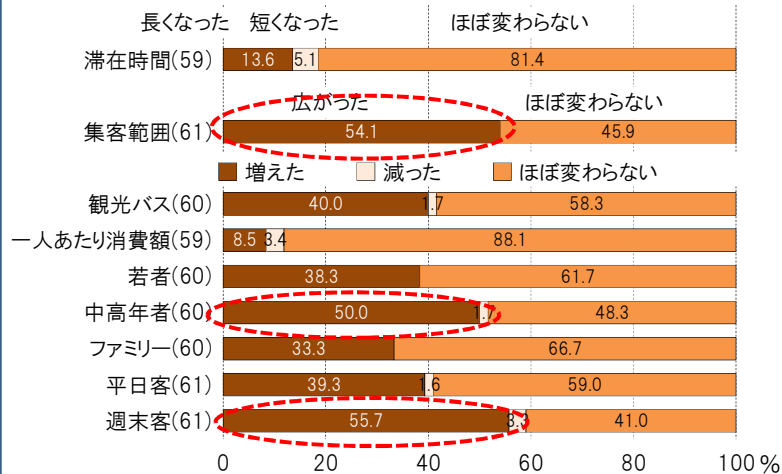
- ・ 出雲大社の遷宮と相乗効果が出ている松江・出雲地域の観光施設で顕著に増加。集客範囲の拡大効果も大。
- ・ 三次市でも来訪者は増加、三次市以南では変化無し。
- ・ 国道54号沿線では減少（但し、営業努力等により増加施設もあり）。

データ紹介

開通3ヶ月後の観光施設アンケート調査結果

松江自動車道の全通による入館者の変化（島根北部）

(n=61)

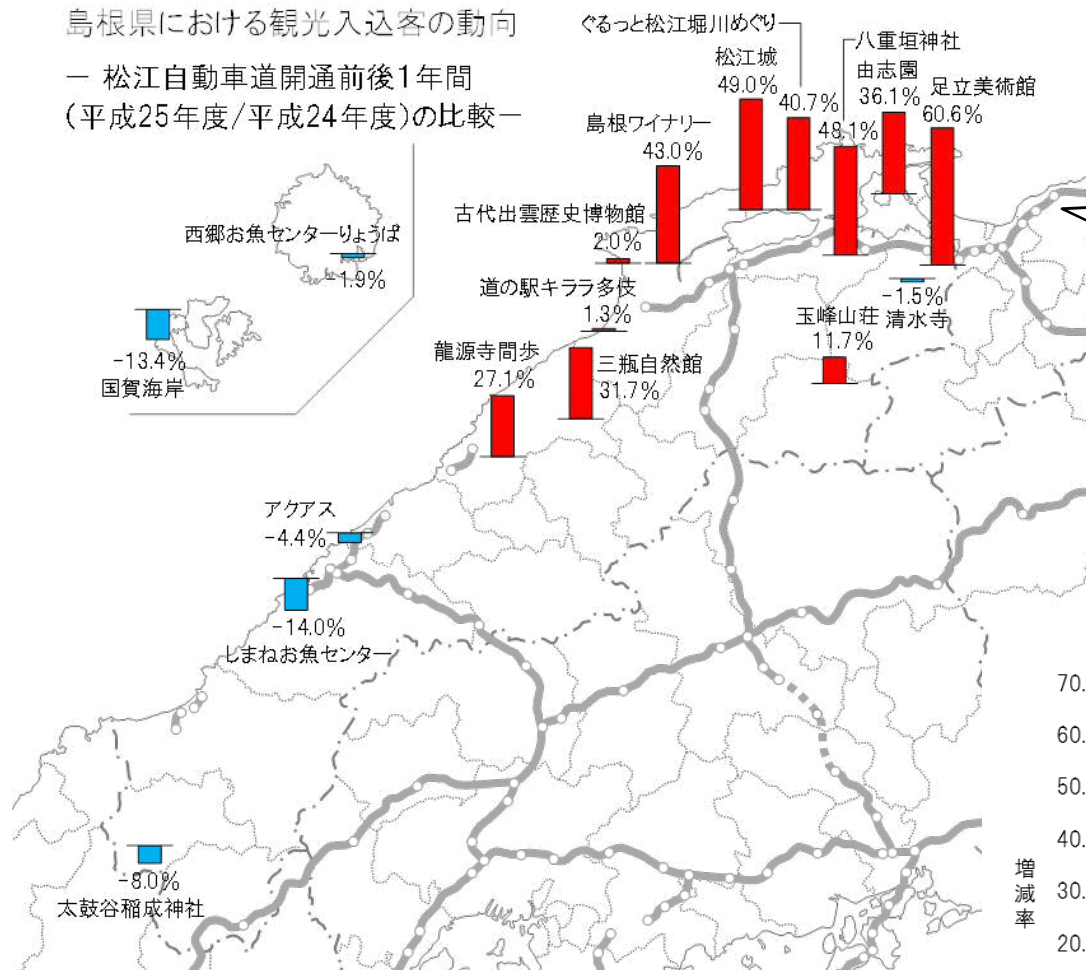


(注)対象は松江道沿線及びその周辺の観光施設、配布数153、有効回収数94、有効回収率61.4%

(注)対象エリアは松江市、出雲市、雲南市、安来市
増減率は平成25年4～6月の入館者数を前年同期と比較したもの

島根県における観光入込客の動向

ー 松江自動車道開通前後1年間
(平成25年度/平成24年度)の比較ー



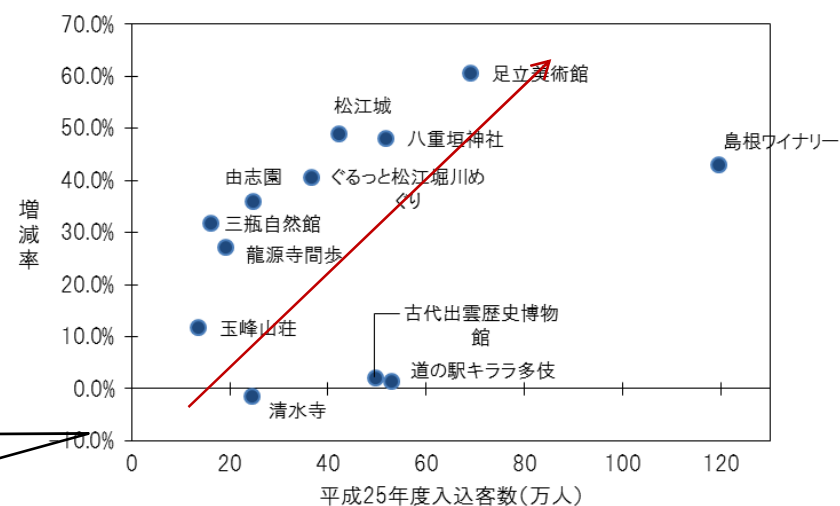
○松江・出雲地域的高速道路沿線及びその周辺の主要観光地(石見銀山等)の増加が顕著。

○松江道からかなり離れている地域の主要観光地(浜田等)は減少。

(資料)島根県観光動態調査結果に基づき作成

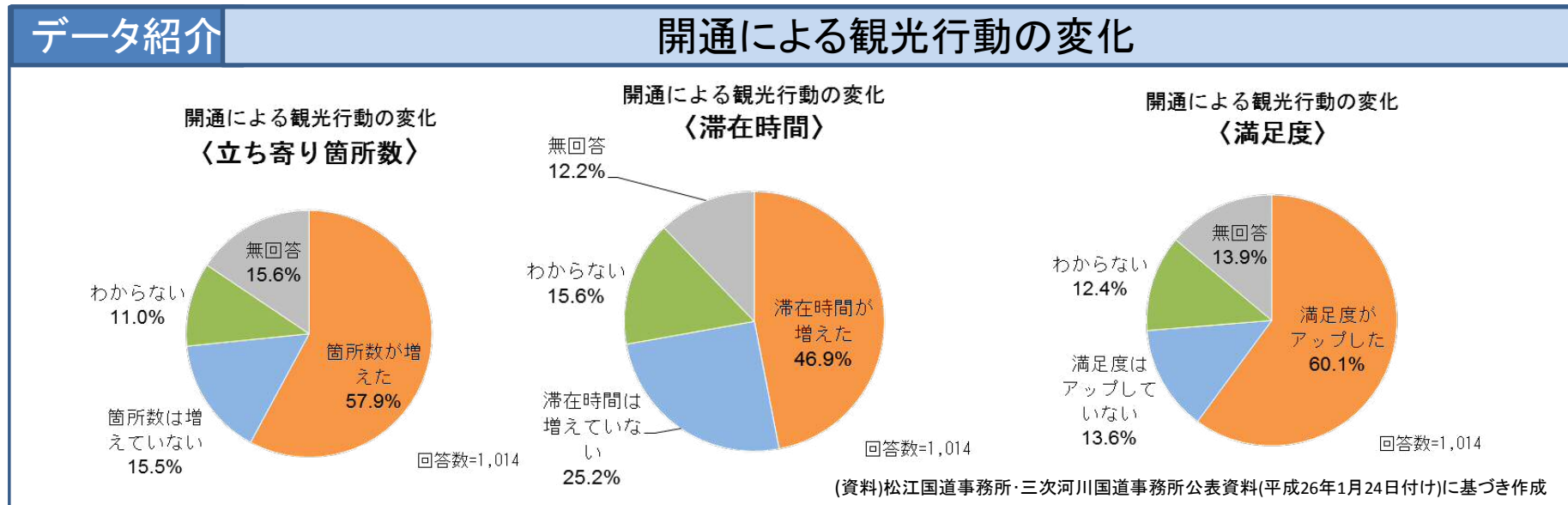
○入り込み観光客数の多い観光施設ほど増加率が大きい傾向。

(注)古代出雲歴史博物館はH24年度に「神話博しまね」の実施により、集客を前年度より倍増させているため、H25/H24の増加率は低い。



②観光客の満足度の向上

- ・立ち寄り箇所の増加、滞在時間の増加が見られ、結果的に満足度の向上に結びついている。



③国道沿線での集客の減少と活性化の取り組み

- ・ R54号、R184号沿線ではマイナス効果をカバーするため、地域連携による取り組みを開始（バイク駐輪場整備、銀山連携、やまなみサイクリングロード等）。

新たな観光の創出

④道の駅の新設・集客

沿線で2つの道の駅が新設され、集客、販売、雇用の拠点となる

【集客】 1年間のレジ通過者は合わせて**約97万人**。(当初目標の倍以上)

【販売】 1年間の売上げは合わせて**約11億円**。(当初目標の倍以上)

【雇用】 合わせて**50人を超える**新たな雇用(平成25年9月現在)。
全体パイが拡大する中で、売上げ減少となる道の駅も出ている。

(例) ある自治体では産直市全体の売上げは4割増加。ただし、減少施設も出現。



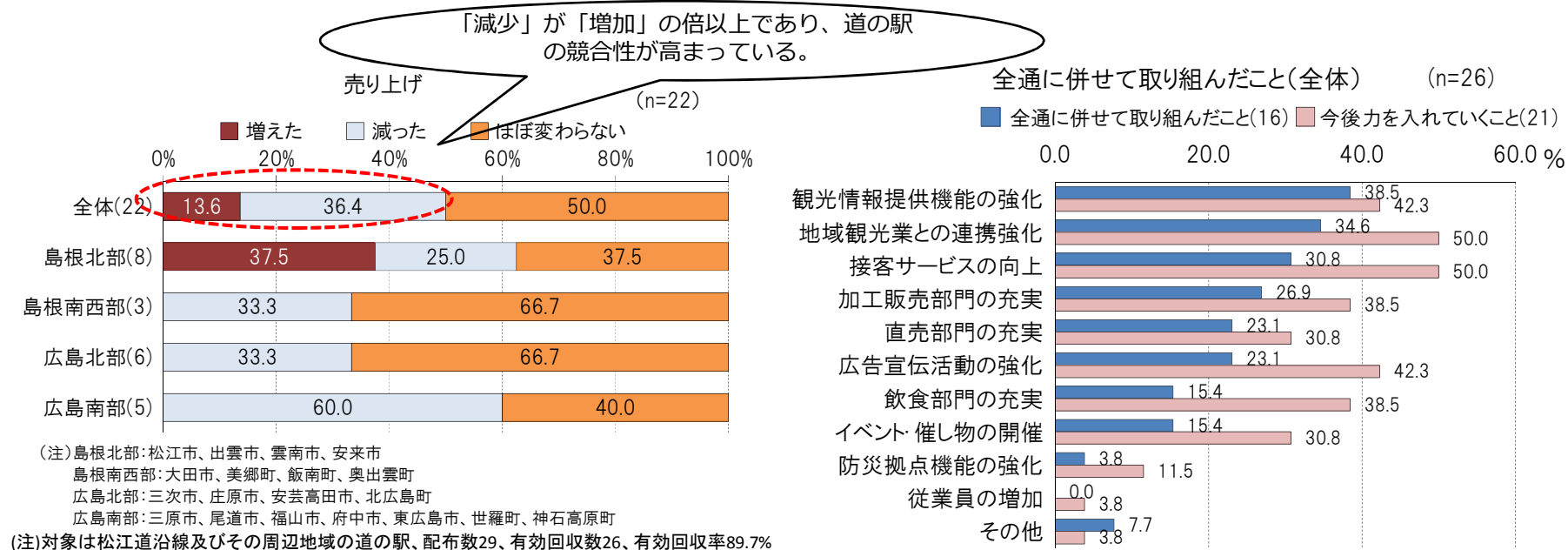
たたらば壱番地(雲南市)



道の駅たかの(庄原市)

データ紹介

松江道開通3ヶ月後の道の駅アンケート調査結果



⑤広域観光商品の造成

○首都圏発の広域観光商品の造成

- ・ 出雲大社参拝、広島宿泊というツアーが企画・実施。(注)出雲・松江の宿泊容量不足も寄与)
- (事例紹介) 羽田→出雲空港or米子空港→八重垣神社(50分)→出雲大社(60分)→広島市内(泊)→自由行動→広島空港or岩国空港→羽田

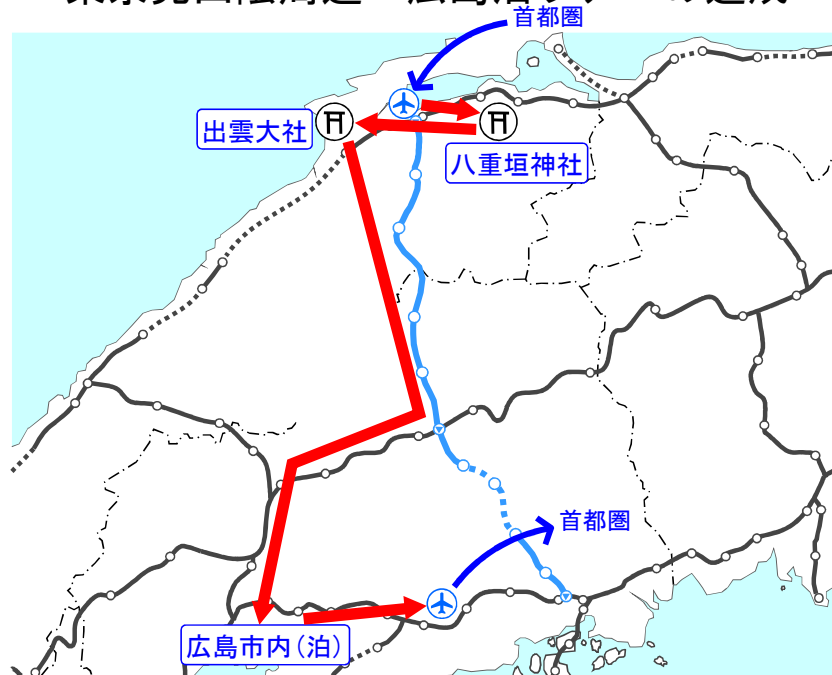
○中国圏からの広域的な観光商品の造成

- ・ 山陰発の周防大島・柳井1泊2日、四万十方面1泊2日のツアーが企画・実施。

事例紹介

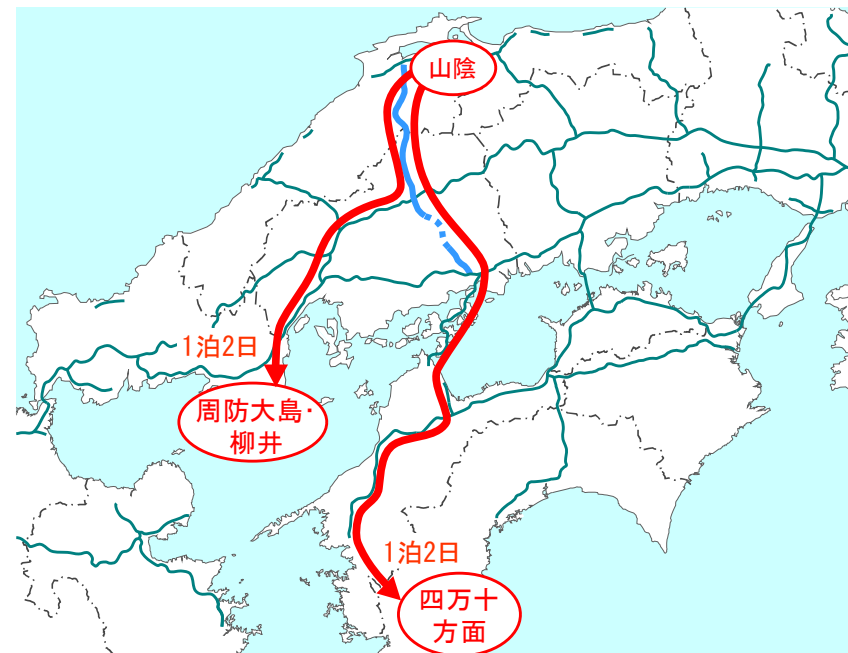
松江道開通を契機に造成されたツアー

東京発山陰周遊・広島泊ツアーの造成



(注)JTB 2014年4月～9月催行

山陰発 松江道利用ツアーの造成



⑥地域資源活用型観光商品の造成

- ・雲南市では「たたら」をテーマとした着地型ツアーを企画・実施
- ・奥出雲町では、「米1グランプリ」と2つの博物館を巡るツアーを造成。

銭

の

道

不

第23回
全日本学生大空会
金賞受賞者
（たたら組中）

雲南
旅のめざと
桜

たたら見聞録

平成26年3月29日
旅行実施

参加料金（税込）
お一人様5,000円

※中学生未満のお子様は
ご不可です。

集合場所	JR松江駅 9:15発 たたらば音響地 10:15発 ※「たたらば音響地」について ・出発時刻着時刻は規定のバス ・出発、松江まで移動費はバス ・無料駐車場スペース有り
開催場所	雲南市・奥出雲町
募集定員	25名（最少催行人数17名）
添乗員	同行いたしますが、 低費が同行いたしません

申込締切 **平成26年3月20日（木）**

料金内訳：昼食1回、貸切バス、保険料、燃料、旅行保険料
募集会場までの交通費は各自持ち合わせをお願いいたします。

実行主催：御吉田ふるさと村・民間企画：雲南伝城連合

**平成26年
3月29日(土)**

鐵の道紀行 行程

広島方面からは「道の駅 たたらば巻香地」集合が便利です！

その1：広島～鳥取を結ぶ高速バス「グランドアロー号」及び「みとこ号」に出発、到着時間が変動しています。
※グランドアロー号
行き：広島バスセンター 7:30発
降り：たたらば巻香地 16:53発
みとこ号
行き：広島バスセンター 8:00発
降り：たたらば巻香地 17:15発

その2：無料駐車場スペースを確保しています。
※到着時、道の駅案内所へご確認ください。

その3：3次車ICへ
～倉敷吉田IC(C)（たたらば巻香地隣接）は無料区間!!

9:15 JR松江駅南口
出発 ※バスは松江ユニバーサルホテル本館横へ停車します。

10:15 道の駅たたらば巻香地
出発 ※バス到着、駐車位置等、詳しくは道の駅案内所へお尋ねください。

10:55 櫻井家庭園
～11:55 ※松平不昧公が愛したお庭をながめながらお抹茶をどうぞ。

12:35 昼食 食の幸 ふる里屋
～13:25 ※季節のお野菜をふんだんに使った「釜めし」をご堪能ください。

13:45 田部家庭園
～14:15 ※通常では見る事のできない当家の庭園を特別公開!

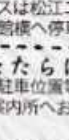
14:20 鉄の歴史博物館
～15:20 ※たたら製鉄の歴史、製鉄技法、たたら用具、たたら師の生活に関する資料を展示。

15:30 菅谷たたら高殿
～16:00 ※もしかして「炎色の桂」が見られるかも? (現在、高殿は工事中の為、建内部の見学は出来ない場合があります。)

16:00 道の駅たたらば巻香地
～16:00 ※当地域ならではの品揃えの土産コーナー、地域の安心安全な食材を使った軽食・レストラン等5店舗を持つ道の駅です。

17:45 JR松江駅 解散!




【旅行条件】
お申し込みの際に必ずお読みください。
また、別途お渡しする旅行条件書も必ずご確認ください。
● お申込、入会には手数料がかかります。
● お申込み後の変更費、FAX、またはメールでお申し込みの方は見込みです。
● 旅行代金は現金のみでの受け取りとなります。クレジットカード、銀行振込、クレジット決済はできません。
● その他、この旅行中に発生する費用は各参加者負担となります。

【お問い合わせ・お申込み】
**観光ふるさと村 [観光事業部]**
〒890-2801 島根県雲南市吉田町吉田104-2
営業時間：9:30~17:00 (土日、祝祭日除く)
TEL:0854-74-0500
FAX:0854-74-0501
E-mail:kankou@y-furusatomura.co.jp
http://kankou.y-furusatomura.co.jp/

3. 産業面での効果・影響

既存産業への効果・影響

①物流効率化 ※直接効果

○時間短縮

- ・水産物の広島・九州方面での輸送が速達化(島根県内物流業)。
- ・松江と広島間で1日4便程度利用。有料だったら利用していない(島根県内物流業)。
- ・1日3便の完成車トレーラー輸送の時間が短縮され、輸送範囲が拡大(広島県内自動車製造業)
- ・1日6～8台運行する商品配送車が全て松江道を利用(広島県内流通業)。

○ドライバーの負担軽減

- ・広島・松江間でドライバーの休憩の必要がなくなった。(広島県内物流業)
- (注) 法律上、連続運転時間は4時間が限度、4時間を超える毎に30分以上の休憩が必要。

○物流定時性の向上

- ・時間内に到着できるためドライバーの心理的負担が軽減(島根県内物流業等)。
- ・国道54号の非常時の代替道路は浜田道だったが、松江道により輸送安定性が確保(広島県内自動車製造業)。

②営業・取引の活発化 ～顧客訪問効率の向上

- ・そば製造機械メーカーや製品取引先の来社が容易(島根県内食料品製造業)。
- ・広島が日帰り圏内となり経費節減(島根県内乳製品製造業)。

③取引先・商圈の拡大 ～山陽側と山陰側の経済圏結節強化

- ・アンケートでは広島側は松江・出雲、島根側は広島エリアがいずれも第1位。

④地場産品の高付加価値化

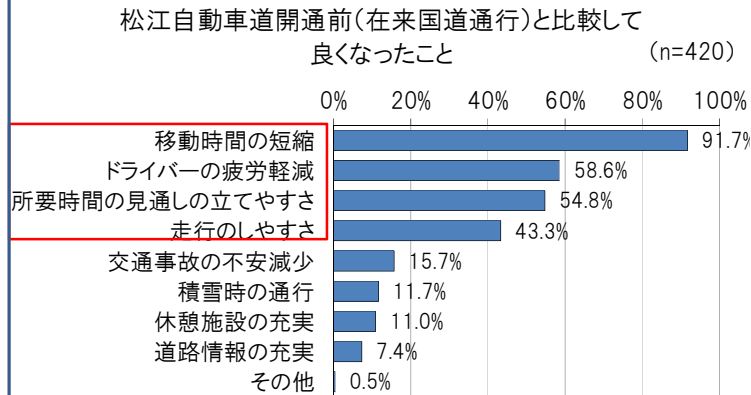
- ・庄原市高野で高野逸品100プロジェクトを実施。



高野逸品100プロジェクト

松江自動車道開通後の企業アンケート調査結果 その1 利用実態と直接効果

移動時間の短縮など直接効果を高く評価

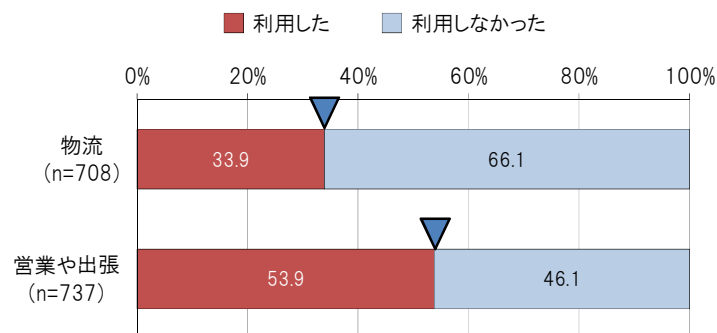


(注) 松江自動車道を物流、営業等で利用した企業が対象

物流と営業・出張での利用パターン

◇物流で利用する企業は1 / 3 程度に絞られるが、比較的高頻度で利用(「週に2回以上」の高頻度利用は営業や出張では1割程度だが、物流では3割近くに)。
◇営業や出張で利用する企業は半数を超える。

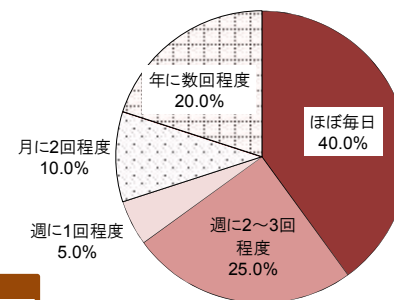
企業活動における松江自動車道の利用状況(全体)



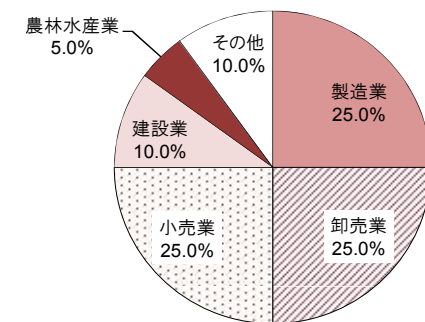
物流利用の主体は製造業、卸売業、小売業

◇物流での利用頻度が多い広島では、製造業、卸売業、小売業 が利用の主体。

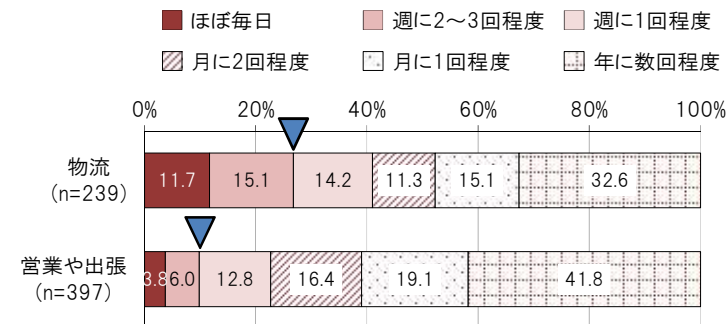
松江自動車道を物流で利用した頻度(広島エリア) (n=20)



松江自動車道を物流で利用した業種(広島エリア) (n=20)



松江自動車道の利用の頻度



【企業アンケート調査より】2,100社対象〔各エリア350社、対象業種：製造業、卸売業、小売業、農林水産業、飲食業、宿泊業、建設業〕、回収数761、回収率36.2%

松江自動車道開通後の企業アンケート調査結果 その2 企業活動への影響(間接効果)

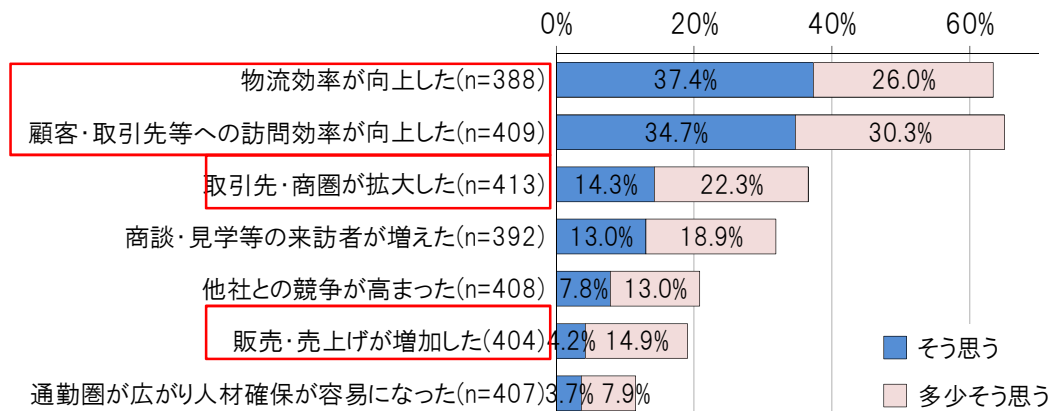
企業活動への好影響は多面的に及ぶ

- ◇物流効率の向上、顧客訪問効率の向上を高く評価。
- ◇取引先・商圏拡大を評価する企業も4割近くの企業が評価。
- ◇販売・売上げの増加を指摘する企業も2割近くある。

山陽側と山陰側の経済圏同士の結節強化

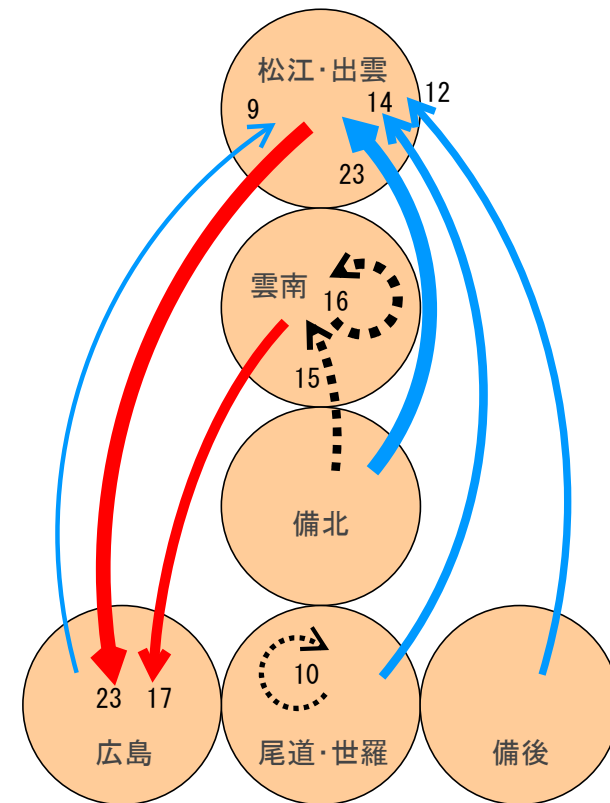
- ◇商圏が拡大したエリアは、広島県側はいずれも松江・出雲エリアが第1位、島根県側はいずれも広島エリアが第1位。より経済規模の大きいエリアへの進出傾向が明瞭。

松江自動車道の利用による事業活動への効果・影響



(注) 松江自動車道を物流、営業等で利用した企業が対象

取引先・商圏が拡大したエリア



【企業アンケート調査より】2,100社対象、回収数761、回収率36.2%

(注) 第1位の回答数を表示。点線は1位以外で9件以上を表示

新規産業の創出

⑤企業立地

- ・三次市で中国地域を営業エリアとしたユニフォームクリーニング工場が立地（平成27年4月操業開始予定）。企業立地の引き合いも前年度より大幅に増加。

【工場立地の効果】

- ・三次市では、このほか建設機械部品製造会社、化粧筆製造販売会社の立地が決定。

3社の進出で見込まれる雇用は約240人。（中国新聞平成26年3月30日より）

- ・尾道市では中四国エリアを対象とした生協商品を扱う物流会社が立地（平成21年10月営業開始）。
- ・雲南市では電機部品製造メーカーが立地（平成25年4月操業開始）。

事例紹介

中国地域を営業エリアとしたユニフォームクリーニング工場が三次市に立地

- ◇サニクリーンは、道路の利便性、水道料金の助成措置を評価。これまでは山陰方面は島根の協力工場でクリーニングしていたが、最新鋭の設備を有する三次に集約する（サービス高度化）。
- ◇三次市としても単独の支援制度を設けて支援。

立地企業の声

三次は中国地方の中心に位置し、当社のユニフォーム工場は松江や米子にもあるため、松江道のインターもあり、東西南北で物流がスムーズであることが立地決定の要因の一つとなった。

※サニクリーンの営業エリアは山陽は尾道以西、山陰は米子以西の中国地域



⑥産業団地整備

- ・尾道市に広島県が流通団地を整備。
- ・出雲市では(仮称)出雲斐川中央工業団地を造成中(山陰道整備時より計画)。
- ・雲南市では松江道の加茂バスストップに隣接して神原企業団地を計画中。

事例紹介

尾道松江線整備に関連した産業団地

【整備済】 尾道流通団地



団地概要

H11.3分譲開始、H19.4全体竣工
分譲面積31.7ha、広島県
【主な立地企業】(株)シーエックス
カーゴ(中四国を商圏とした生協
100%出資の物流企業) 読売新聞
尾道工場、備後通運尾道流通セン
ター等

【造成中】(仮称)出雲斐川中央工業団地



団地概要

H27.7分譲開始予定
分譲面積8.3ha、出雲市
【周辺の主な立地企業】
(株)島根富士通、島根島
津(株)、(株)スター精機、(株)
出雲村田製作所等

【計画中】神原企業団地(仮称)



団地概要

H30年度分譲開始予定、
分譲面積約4ha、雲南市
【周辺の主な立地企業】
島根三洋電気(株)、ホシザキ電
気(株)等

⑦特産品販売拠点等の整備

- ・飯南町が交流物産館を三次市内に整備。
- ・三次市では農業生産力を強化し、生産から販売をつなぐ役割を担う施設として「農業交流連携拠点施設」を整備中。

立地場所は、広島三次ワイナリー、奥田元宋・小由女美術館の隣接地。

- ・世羅町では世羅IC近くに「インフォメーションセンター(仮称)」を計画中。開業時期はH27年度初め。

(中国新聞H26.5.30記事より)



三次市に立地した
飯南町交流物産館

特産品の販売施設、蕎麦屋、
観光情報コーナー等で構成さ
れている。



三次市の農業交流連携拠点施設のイメージ図
(資料) 三次市HP

地域間産業交流

⑧心理的距離の縮小効果が大きい

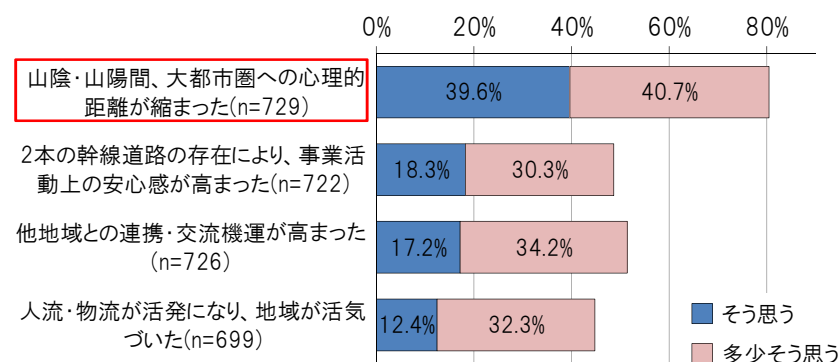
- ・ヒアリングでも各方面から聞かれたが、企業アンケートでは8割の企業が心理的距離の縮小効果を指摘。

心理的距離の縮小効果が大きい

◇「山陰・山陽間、大都市圏への心理的距離の縮小」を指摘する企業が約8割と多い。

◇「他地域との連携・交流気運の向上」「2本の道路による安心感の向上(リダンダンシー効果)」「地域が活気づいた」も5割前後に達する。

松江自動車道開通による立地地域の変化



【企業アンケート調査より】2,100社対象、回収数761、回収率36.2%

(注)全企業が対象

⑨産業交流の開始 松江市と尾道市・福山市との間でビジネスマッチング商談会などを開始。

背景

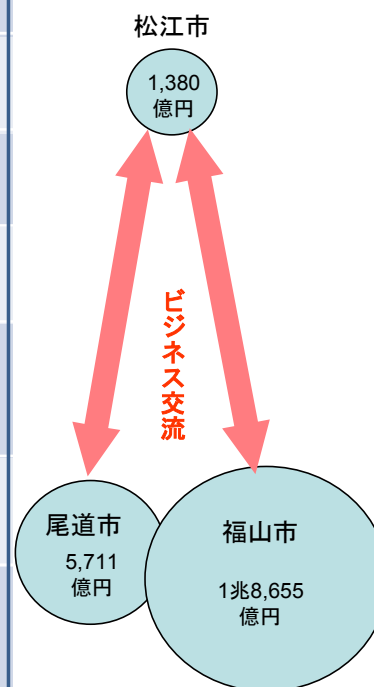
平成23年8月に松江市が東出雲町と合併したことで農業機械の産業集積地になった。松江市と尾道市が姉妹都市に。

開通

本格的な経済交流の開始

年	月	取り組み	場所
H23	11	尾道商工会議所による「中海ものづくりフェア2011」視察、松江商工会議所との意見交換会	松江市
H24	2	松江市・尾道市姉妹都市提携調印式	松江市
	10	松江商工会議所・東出雲町商工会による尾道合同視察研修会、尾道商工会議所との意見交換会	尾道市
H25	3	尾道商工会議所工業委員長と松江商工会議所工業部会長等との懇談会	尾道市
	3	福山商工会議所機械金属工業部会長と松江商工会議所工業部会長等との懇談会	福山市
	7	尾道商工会議所による松江ものづくり企業視察 尾道・松江ものづくり企業ビジネス交流会	松江市
	9	福山・松江ものづくり企業合同懇談会 松江商工会議所・東出雲町商工会他による福山ものづくり企業視察	福山市
	11	中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業ビジネスマッチング商談会（備後地域から12社参加）	安来市
H26	2	福山商工会議所主催第4回ビジネス交流フェア（松江から27社参加） 松江商工会議所・東出雲町商工会他による福山ものづくり企業視察	福山市
	10	中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業ビジネスマッチング商談会（予定）	境港市
	11	福山商工会議所による松江ものづくり企業視察（予定） 福山・松江ものづくり企業ビジネス交流会（予定）	松江市

（参考）製造品出荷額等



（注）2011年工業統計

尾道自動車道開通の影響見込み その1

物流業と宿泊業の活性化を見込む

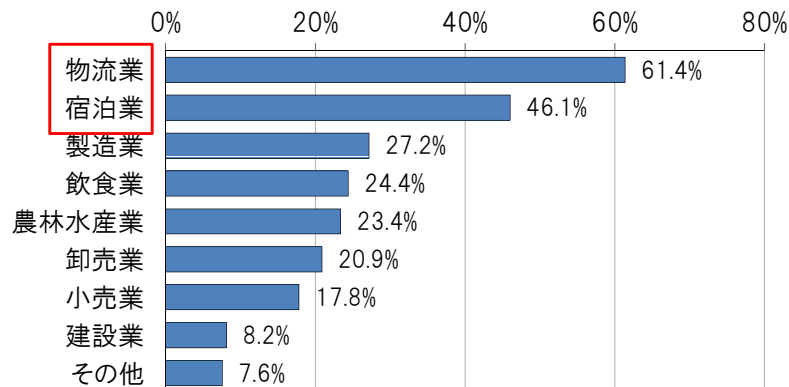
- ◇多くのエリアで第1位が物流業、第2位が宿泊業。
- ◇松江・出雲地域では宿泊業が第1位。備北では製造業が第2位であり、地域の特徴ある産業の活性化を見込む。

山陽側と山陰側の経済圏同士の結節強化

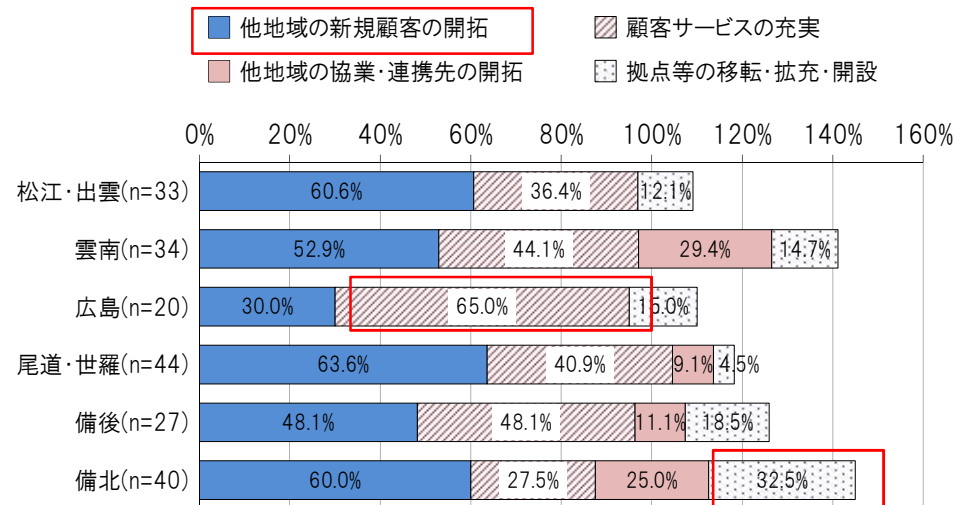
- ◇企業の事業展開としては、「他地域の新規顧客の開拓」が主となり、「顧客サービスの充実」が続く。
- ◇広島エリアでは「顧客サービスの充実」がトップ。
- ◇備北では「拠点等の移転・拡充・新設」意向も強い。

尾道自動車道開通により活性化と思われる産業

(n=684)



尾道松江線全通に伴う企業の事業展開の意向



尾道松江線全通により活性化する地域産業

	松江・出雲	雲南	備北	広島	尾道・世羅	備後
1位	宿泊業 71.8%	物流業 60.7%	物流業 62.1%	物流業 67.0%	物流業 59.3%	物流業 61.1%
2位	物流業 60.5%	宿泊業 50.0%	製造業 28.2%	宿泊業 39.8%	宿泊業 42.6%	宿泊業 40.0%

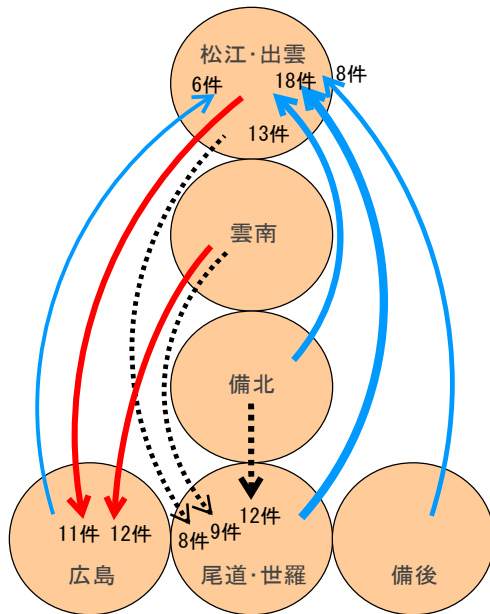
【企業アンケート調査より】2,100社対象、回収数761、回収率36.2%

尾道自動車道開通の影響見込み その2

市場拡大先は松江・出雲エリアと広島エリア

- ◇広島県側の4エリアはいずれも松江・出雲エリアが第1位。
特に、尾道・世羅、備北では拡大意向が強い。
- ◇島根県側の2エリアはいずれも広島エリアが第1位。

新規顧客の開拓



(注) 実線が1位、点線が2位 (1位の半分以下の場合は非表示)

立地展開先は松江・出雲エリアと備北エリア

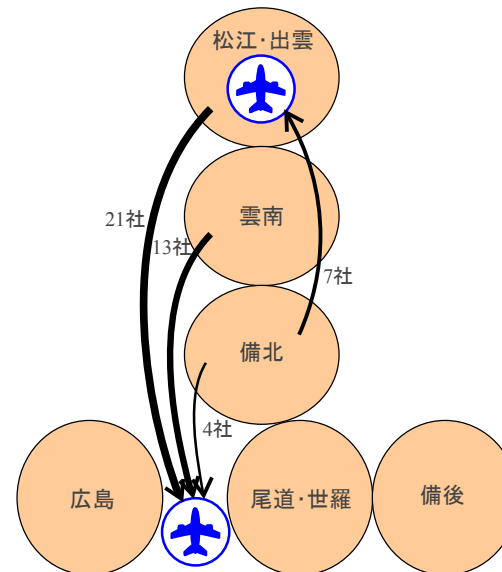
- ◇尾道松江線全通により山陰と備北がクローズアップされる。高速道で直結する四国地域への展開志向も見られる。

【企業アンケート調査より】2,100社対象、回収数761、回収率36.2%

県境を越えた空港利用圏拡大が見込まれる

- ◇松江道全通による空港利用圏への影響はほとんど無し。
- ◇尾道松江線全通により、島根県側からの広島空港利用が産業面で高まる見通し。

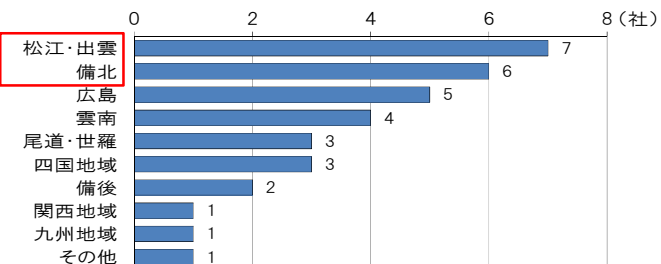
尾道自動車道の開通を受けて新たに利用又は利用を増やす空港



(注) 4社以上を表示。

拠点等の移転・拡充・新設の対象エリア

(n=25)



松江道開通の効果

	直接効果	間接効果		
交通・生活・行政	+ 目的地までの時間短縮等	交通面 + 高速バスの運行サービス向上 + 高速道路ICを起点とした交通アクセス向上 + 国道交通量減少による安全性向上 - IC周辺の既存道路の交通量増大による渋滞や事故発生懸念	生活面 + 医療圏拡大、救急搬送圏拡大 + 買物圏拡大を見越した商業機能の強化 + 生活行動圏の拡大	行政面 + 広域防災面での連携 + 国定公園活用・イベントでの連携
観光		既存観光地への効果 + 観光客の増加・広域化 + 観光客の満足度の向上 - 遠隔地での観光客の減少 - 国道沿線の道の駅等の売上げ減少 + 国道沿線での活性化の取組開始	新たな観光の創出 + 道の駅の新設・集客 + 広域観光商品の造成 + 地域資源活用型観光商品の造成	
産業	+ 移動時間の短縮（物流効率化等）	既存産業への効果 + 営業・取引の活発化 + 取引先・商圈の拡大 + 地場産品の高付加価値化	新規産業の創出 + 企業立地 + 産業団地整備 + 特産品販売拠点の整備	地域間産業交流 + 心理的距離の縮小 + 産業交流開始
※尾道道開通による地域経済への影響見込み ◇山陰と山陽側の経済圏同士の結節強化 ◇企業立地・拡充先として松江・出雲、備北が注目 ◇県境を越えた空港利用圏拡大				

4. 松江自動車道開通の効果（中間とりまとめ）

(1)交通面・生活面・行政面での多様な効果を確認。

- 交通面…高速バスの運行サービス向上、高速道路ICを起点としたアクセスの向上、国道の安全性向上等。
- 生活面…買物圏拡大を見越した新たな商業機能の強化、医療圏の拡大、広域的な人的交流の拡大等。
- 行政面…広域防災体制、観光振興面での広域連携開始等。

(2)観光面では既存観光地への効果、新たな観光の創出効果を確認。

- 既存観光地…観光客の増加・広域化や観光客の満足度の向上等。
但し、出雲大社遷宮の影響が大きいこと、開通直後の一時的な集客増の面があることに留意。
一方、高速道路の遠隔地での観光客の減少や国道沿線の道の駅の売上げ減少等の影響も見られる。
これをカバーする活性化の取組を確認。
- 新たな観光の創出…道の駅の新設・集客、広域観光商品の造成、地域資源活用型観光商品の造成等。

(3)産業面では時間短縮等を活かし、既存産業への効果、新規産業の創出という効果を確認。

- 既存産業…物流効率化、営業・取引の活発化、社内交流活発化、市場エリアの拡大、地場産品の高付加価値化等。
- 新規産業の創出…企業立地、産業団地整備、特産品販売拠点整備等。

(4)松江道の開通により陰陽間の心理的距離が縮小し、地域連携の胎動を確認。

尾道松江線の全通を視野に、陰陽間での商圈拡大意向等がみられ、産業交流も開始。
今後は観光面、行政面も含め地域連携による効果の発現を期待。

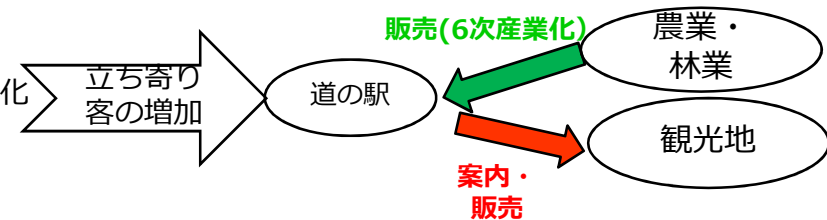
5. 尾道松江線全通の更なる活用に向けて

沿線の中山間地域

◆集客で地域経済効果を高める

- ・道の駅と6次産業化の取組の連携、観光ゲート機能（案内・販売等）の強化
- ・波及効果エリアの拡大
- ・交通量減少の国道での集客強化対策

立ち寄り客と沿線地域をつなぐ道の駅の役割強化



◆巨大災害を受けにくいこと、リダンダンシー向上を活かした企業誘致

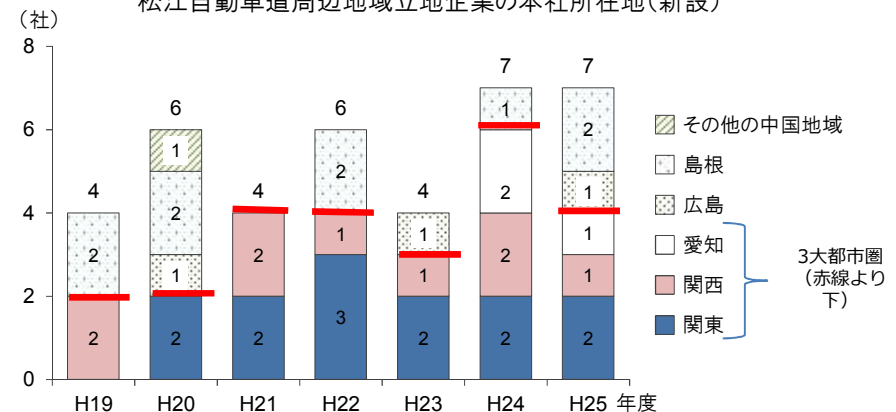
- ・高速道路の多重性を活かし、企業BCPの観点も加えた企業誘致の推進

◆雇用の場づくりと定住政策を両輪で推進

- ・地元での定住政策(例：雲南市での農園付き住宅)
- ・広域都市圏での通勤流動を高める

島根県内立地企業の本社所在地

松江自動車道周辺地域立地企業の本社所在地（新設）



(資料)立地計画認定書交付(製造業・ソフトウェア業が対象)の島根県報道発表資料に基づき作成
(注)対象エリア:松江市・出雲市・安来市・雲南市・奥出雲町・飯南町に立地した企業を対象とした。

山陽・山陰間

◆拠点都市圏間の経済交流・地域連携を推進

- ・松江と尾道・福山間を起点とするビジネス交流の深化
- ・広島と島根間の観光・コンベンション連携の推進
(例：宮島・出雲大社・石見銀山ルート)

◆幹線道路ネットワーク効果の強化

- ・山陰自動車道、広島フライトロードの整備により、更なる物流効率化、産業利用、広域観光を推進

中国・四国間

◆観光・産業面での交流気運を高め連携を推進

- ・広域観光商品の創出、広域サイクリングルート形成
- ・物流効率化、ブロックを越えた産業交流

四国の産業を支える山陰の産業

国内タオル生産の5割以上を生産する今治タオル業界（118社）は、品質確保の取組等によりブランド力を再構築し、海外展開も推進。その主たる原料である綿糸は出雲市内の企業から運搬（1ヶ月で10トントラック100台、その約5割が松江道を利用）。